

令和5年 下期

景況調査報告書

令和5年7～12月期 実績

令和6年1～6月期 見通し

徳之島三町商工会

(令和6年1月発行)

この調査は、商工会地域の産業状況等、地域の経済動向について半期毎に変化の実態等の諸状況を迅速・的確に収集しているものである。

この報告書の中で用いられているD・I指数とは、ディフュージョン・インデックスの略で、【増加・上昇・好転】の割合から【減少・低下・悪化】の割合を差し引いた値であり、企業の景気動向を表す指数として利用されている。

＜お天気マークの説明＞

 特に好調 +30.0 以上	 好調 +29.9～ +10.0	 まあまあ +9.9～ ▲9.9	 不振 ▲10.0～ ▲29.9	 極めて不振 ▲30.0 以上
---	---	---	---	--

- 調査対象期間 令和5年7～12月期を対象とした。令和6年1～6月期は予測値となる。
- 調査方法 商工会の経営指導員による訪問及び面接調査による。
- 調査対象商工会 徳之島町商工会・天城町商工会・伊仙町商工会
- 回答企業 対象企業 29企業
製造業：6企業 建設業：5企業 小売業：9企業
サービス業：9企業
(※徳之島の29企業を基に指数を表示しており、あくまでも参考指数とご理解いただきたい。)

島内産業別業況DI

		製造業		建設業		小売業		サービス業	
前年同期比	(2022年7月～12月期)		4.2		▲ 15.0		5.6		8.3
前期比	(2023年1月～6月期)		▲ 11.1		▲ 40.0		▲ 3.7		0.0
来期見通し	(2024年1月～6月期)		▲ 25.0		▲ 35.0		▲ 13.9		▲ 5.6

総合（業況）

前年同期(2022年7月～12月)と比較した今季(2023年7月～12月)の業況は、製造業4.2、建設業▲15.0、小売業5.6、サービス業8.3と建設業以外はまあまあの数値となった。製造業では需要の回復により売り上げは好調であったが、原材料価格高騰等の影響により採算は不調となった。建設業は需要の停滞や人件費・資材の高騰、人手不足が重なり厳しい状況に置かれている。小売業は需要が回復したこともあり売上高が上昇したが、価格転嫁によるものも多く、採算は不調。仕入高の高騰により資金繰りも厳しいものとなっている。サービス業は飲食など需要の高まりにより売上額や資金繰りは好調。それでも原材料価格等の高まりの影響は大きく、来期の採算と業況の見通しは不調とみている。

業種別景気動向

【製造業】 有効回答数 6企業

		売上額		資金繰り		採算		業況	
前年同期比	(2022年7月~12月期)		33.3		0.0		▲ 16.7		0.0
前期比	(2023年1月~6月期)		▲ 16.7		▲ 16.7	-	-		0.0
来期見通し	(2024年1月~6月期)		▲ 33.3		▲ 16.7		▲ 16.7		▲ 33.3

<調査対象企業が感じている景気判断コメント>

需要の高まりを感じているが、原材料価格の高騰の影響も大きい。

経営上の問題点

コスト上昇の幅を、価格転嫁分で補い切れていない。

【建設業】 有効回答数 5企業

		売上額		資金繰り		採算		業況	
前年同期比	(2022年7月~12月期)		▲ 20.0		▲ 20.0		▲ 20.0		0.0
前期比	(2023年1月~6月期)		▲ 40.0		▲ 40.0	-	-		▲ 40.0
来期見通し	(2024年1月~6月期)		▲ 60.0		▲ 40.0		0.0		▲ 40.0

<調査対象企業が感じている景気判断コメント>

公共、民間ともに受注数は減少。加えて、人員不足、人件費含む経費全体の増加もあり業況は極めて厳しい。

経営上の問題点

需要の低下、コストの高騰、人手不足に対応できていない。

【小売業】 有効回答数 9企業

		売上額		資金繰り		採算		業況	
前年同期比	(2022年7月~12月期)		22.2		11.1		▲ 22.2		11.1
前期比	(2023年1月~6月期)		▲ 22.2		22.2	-	-		▲ 11.1
来期見通し	(2024年1月~6月期)		▲ 11.1		0.0		▲ 22.2		▲ 22.2

<調査対象企業が感じている景気判断コメント>

コロナ以前の状況に戻りつつあるように感じる。

経営上の問題点

仕入高の高騰が続き採算が悪くなっている。価格の再検討が必要。

【サービス業】 有効回答数 9企業

		売上額		資金繰り		採算		業況	
前年同期比	(2022年7月～12月期)		22.2		11.1		0.0		0.0
前期比	(2023年1月～6月期)		0.0		0.0	-	-		0.0
来期見通し	(2024年1月～6月期)		0.0		0.0		▲ 11.1		▲ 11.1

<調査対象企業が感じている景気判断コメント>

外食ニーズの高まりを少し感じるようになった。

経営上の問題点

売上や資金繰りは回復傾向だが価格転嫁を嫌がる傾向もみられる。